

創造・誇り・愛！ 輝く七中 <sup>きら</sup>煌めけ生徒！！



# とらのき

立川市立立川第七中学校

校長 大神田佳明

学校だより

第3号

平成28年6月10日

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

TEL (042) 531-0511~3 FAX (042) 531-6103 URL <http://www.tachikawa.ed.jp/jh07/>

## 「記憶に刻め、歴史と思い出」 飛鳥時代を訪ねて ( 修学旅行スローガン )

校長 大神田 佳明

3年生は、5月19日から京都・奈良へ修学旅行に出かけました。前日の出発式では、2年前に自分に宛てた手紙を開封し、中学校2年間の成長を振り返り新たな気持ちで修学旅行に臨みました。初日に見学した法隆寺は、多くの修学旅行生や海外から観光客で混雑する中、1300年以上前に聖徳太子によって建立された伽藍や仏像などを見学し飛鳥時代の文化を学びました。

法隆寺の五重塔は、世界最古の木造建築で世界遺産にも指定されている建物です。この塔の美しさは上層の屋根が徐々に小さくなる安定感と重厚さです。また、柱や垂木の木組みの美しさはまさに日本の伝統美を感じます。新国立競技場を設計した建築家の隈研吾氏は、法隆寺の軒の美しさを意識して現代によみがえらせたと言っています。多くの木造建築が倒壊したなかで法隆寺だけが1300年の間残っているのは、奇跡的に戦火や災害を逃れたことと一定の期間に修理をしてきたからです。法隆寺に代々仕えてきた宮大工の西岡常一氏(1908-1995)は、「昭和の大修理」と言われる解体修理を手がけました。西岡氏は飛鳥時代の工人と対話ができ、飛鳥時代の工法で大伽藍を造れる最後の宮大工棟梁と言われました。先日、西岡棟梁の唯一の内弟子を努めた小川三夫氏の講演「技を伝える、人を育てる」を聴く機会がありました。小川氏は、高校生の修学旅行で初めて訪れた法隆寺を見て感激し、自分もこういう建物を造ってみたいと思い西岡棟梁に弟子入りしました。小川氏は西岡棟梁と寝食を共にしながら修行し、奈良の薬師寺金堂や法輪寺の三重塔の建立など大きな仕事を手がけました。西岡棟梁には道具の使い方すら教えてもらえず、後にも先にも1回だけ、「これと同じような鉋くずを削れるようにしろ」と自分で削った向こうが透けて見えるような見事な鉋くず1枚が渡されました。小川氏は、それを窓に貼って毎晩刃物研ぎの修行を続けました。大工や職人の仕事は言葉で教えられないから弟子入りし、棟梁と一緒に暮らして一緒に仕事することから大工としての勘や立ち居振る舞などを学び取ります。西岡棟梁から教わったことは、「1枚の鉋くず」と「切れる刃物は嘘をつかない」という言葉だったそうです。その後、小川氏は独立し宮大工を養成する「鶴工舎」を設立し多くの弟子を育てました。ここでは弟子たちが共同生活をしながら、宮大工の技と心を磨いています。「人を育てるには、何も教えず、学ぶ気持ちがわくまで待って、無駄をさせて無駄を気付かせることが大切です。自分は、人を育てることはできないが、学ぼうとする環境と機会をつくれれば弟子は自分から学び育っていく。」とお話されていました。

学校では、教師が「何をどのように教えるか」を中心とした授業はもちろん、これからは、生徒が「どのように学び、どのような力を身に付けるか」を目指した授業づくりが大切です。そのためには、生徒が主体的に学べる学習環境づくりや、問題を解決したり、生徒同士が協働して学び合ったりする授業を通して、これからの時代に求められる確かな学力を育てていきたいと思えます。

修学旅行生でにぎわう 法隆寺「五重塔」



# 第39回 運動会

6月4日(土)晴天の中、第39回運動会が開催されました。昨年度の雨天続きの日程とは打って変わり、今年度は学年練習・予行練習を予定通り行うことができました。生徒たちは、毎日炎天下の中、学年種目、全員リレーを練習し、クラスでぶつかり合い、試行錯誤し、また挑戦するということを繰り返す毎日でした。本番では、練習で一位を取ることのできなかつたクラスが優勝という、ドラマのある運動会となりました。何よりも、生徒が勝敗という結果だけではなく、皆で練習から全力で取り組むという過程にこだわった結果、とても良い運動会となりました。運動会実行委員の皆さん本当にお疲れ様でした！

運動会実行委員長 雨宮 誠

| 学年 | 全員リレー | 学年種目 | 学年総合優勝 | 色別総合                 |
|----|-------|------|--------|----------------------|
| 1年 | 1組    | 1組   | 1組     | 1位 緑(1組)<br>2位 青(2組) |
| 2年 | 2組    | 2組   | 1, 2組  |                      |
| 3年 | 2組    | 3組   | 2組     |                      |

※校内新記録 ☆女子80mハードル走 1年 荒井 羽七さん 14秒01



## ◎今年度の新たな職員の紹介です◎



「家庭と子供の支援員」  
・・渡辺 道代 さん  
こんにちは。お友達のこと、ご家庭のこと、そして、自分のこと、悩みがあつたらいつでも相談してください。皆さんと仲良くしていきたいです。



「ハートフルフレンド」  
・・山本 望愛さん  
初めまして。皆さんの中学校でハートフルフレンドとして勤めることになりました「やまもと もあ」と申します。皆さんとお話できることを楽しみにしているので、気軽に声を掛けてください。



## 今年度の学校評議員の方のご紹介

◎石井 直行 様 (元 PTA 会長)

◎和田 政子 様 (西砂川青少健委員)

◎長谷川由美子 様 (元 PTA 役員)

◎藤宮 広行 様 (元 PTA 会長)

◎上野 耕一 様 (元 PTA 会長)

※第1回評議員会 6月18日(土) 学校公開日  
よろしく願いいたします

## 「薬物乱用防止教室」 5月16日(月)



今年の薬物乱用防止教室は、保護司の渡辺道代さんをお招きして行いました。普段から、薬物依存者と接している方ならではのお話に、改めて薬物の怖さを学ぶことができました。生徒の感想文の抜粋を紹介します。

※・・・私は、小学校などの授業の時から「覚醒剤とかは、一度使うとやめられなくなる」と聞いていました。しかし、毛布でぐるぐる巻きにしないと落ち着かなくなるほど大変だとは知りませんでした。そして、覚醒剤を使用した人の特徴として、幻覚、幻聴などがあげられるのも知っていました。ですが、自殺行為にまでなるとは知らず、とても驚きました。そして、お話の中でも一番びっくりしたのは、覚醒

剤を使用した人の刑務所の中でのことです。真面目な態度の裏に「早く出て、また覚醒剤を使いたい」という気持ちがあることです。渡辺さんは、一度使うと、脳が覚えてしまいやめられなくなる、とおっしゃっていました。覚醒剤という薬物は、人間を底から、根本から変えてしまうものだ、と改めて感じました。私は、たった数分で残りの全ての人生を変えたくありません。絶対に、使いたくないし、周りの人々にも、使わせたくないです。(2年)